



☆鶴嶺八幡宮

源頼義が下総の乱（1030年）の鎮圧に向かう時、石清水八幡宮を勧請して本社宮を創建し、その後の東北の戦（前九年の役）の際に子の義家が本社宮を遷座して鶴嶺八幡宮を創建したといわれています。



☆大イチョウ

源義家が戦勝祈願のために植えたという伝承があります。（県指定天然記念物）



☆参道と松並木

江戸時代初期に別当常光院の僧朝恵が鶴嶺八幡宮を再興し、慶安2（1649）年に三代将軍家光から社領7石の朱印を得、参道に松を植えました。（参道は市指定史跡、松並木は市指定天然記念物）



☆馬頭観音

寛政7（1795）年銘の市内最古の馬頭観音。衆生を恐ろしい顔で叱り導く観音から馬の供養、交通安全の願いを込めた観音さまになりました。



☆鎌倉道

鎌倉に向かう主要街道の一つが参道の中間を横切り、旧相模川橋脚の出現した橋のところにつながっていたと考えられます。また西へ行く時の道でもありました。



☆弁慶塚

頼朝は橋供養の帰り義経たちの亡霊に逢い、落馬し翌年亡くなったとの言い伝えから義経の霊を御霊神社に祀り、家来の弁慶は碑を建てて霊を慰めたといわれています。

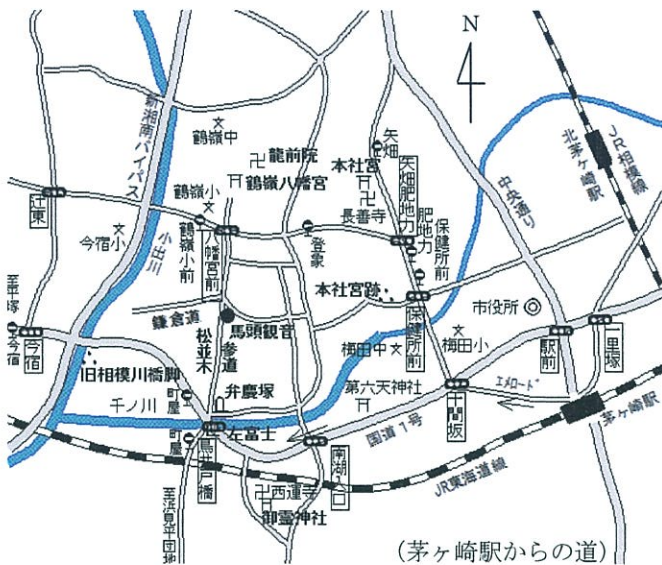


ぶらり散歩

鶴嶺地区の鎮守さまである鶴嶺八幡宮の参道は長く（約760m）、松並木があつてとても立派です。

鶴嶺八幡宮の前身ともいわれる本社宮跡の塚の桜はきれいです。また水仙の季節も見ごろです。

ちょっと足を延ばすと、源頼朝の家臣稲毛重成（妻は政子の妹）が造った橋の橋脚が大正の関東大地震で田んぼから出現し、池にして保存した後に周りに植えた桜が今は名所になっています。



茅ヶ崎駅から鶴嶺八幡宮の鳥居まで

- 徒歩：茅ヶ崎駅北口→エメロード→十間坂→鳥井戸橋（約1.6km 約25分）
- バス停：町屋（平塚行、浜見平団地行）より約100m（帰りは鶴嶺小学校前、登乗から茅ヶ崎駅行）

“ちがさき丸ごとふるさと発見博物館”

- 茅ヶ崎全域を博物館と見立てて、地域の宝を活用して
- ①生涯を通じて学習したことを地域に活かせる
 - ②文化が身近に感じられる
 - ③ふるさとを愛する気持ちを持つ仲間が増やせる
- “地域（=まち）づくり！”を目指しています。

(No.1 作成：2011.8.28、改訂：2013.5.14 s.t.)

丸ごとふるさと発見博物館

鶴嶺八幡宮の周辺



鶴嶺八幡宮
江戸時代にできた参道、松並木大きくて立派なイチョウ

南湖の左富士、弁慶塚
鎌倉道、馬頭観音など

どこにあるの？



E-1 “鶴嶺八幡宮周辺”を調べる

自分で探したものを絵や写真で追加しましょう!

六地藏の所を北に行った龍前院にある市指定文化財

“ふるさと発見”



大イチョウ



太鼓橋から社殿へ向かう



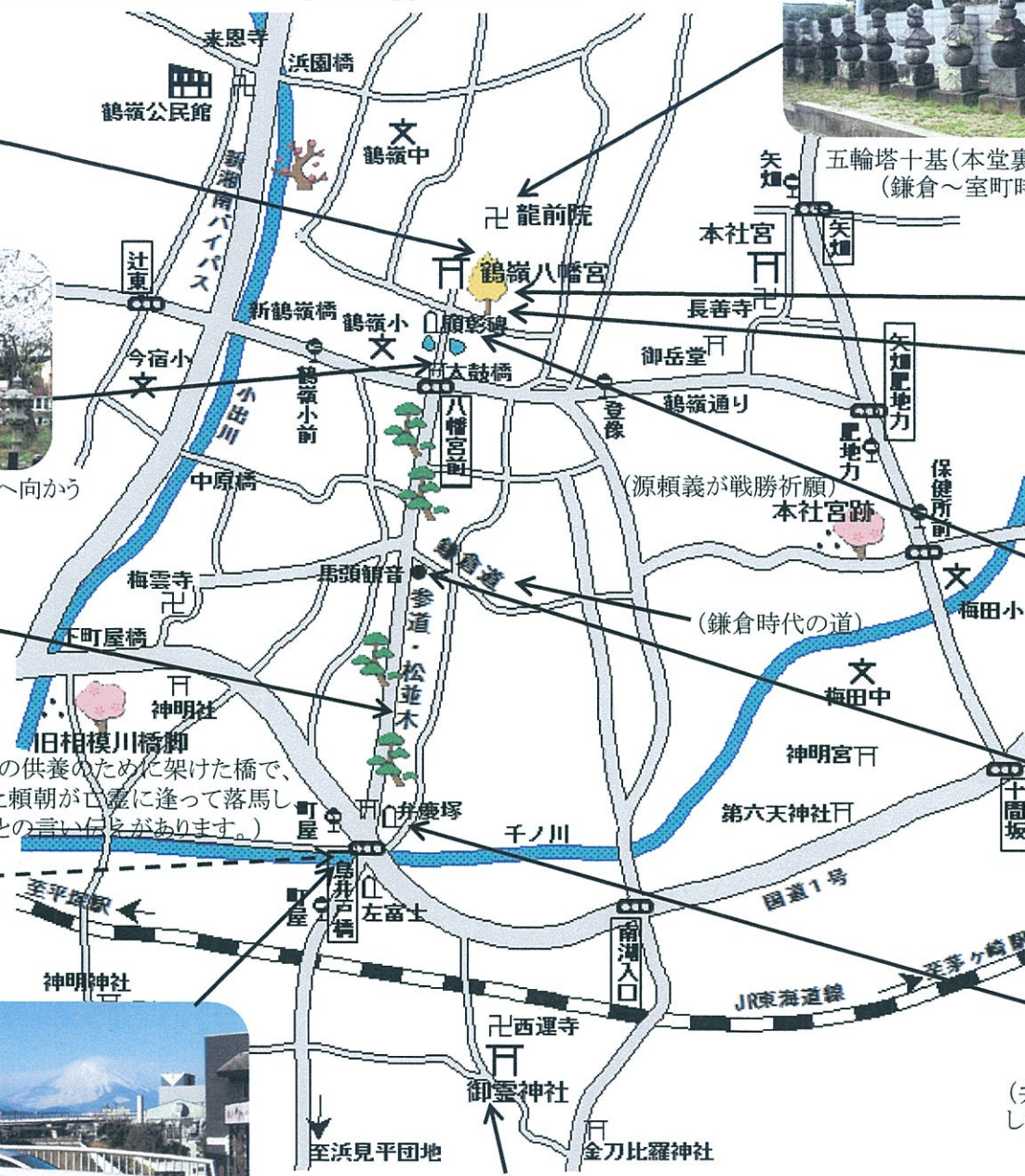
長い参道と松並木



浮世絵の左富士 (広重作)の説明板



鳥井戸橋から富士山 (石原橋、千ノ川の先)



五輪塔十基(本堂裏の左奥) (鎌倉~室町時代)



梵鐘(本堂手前右側) (市内最古1694年)



三猿の庚申塔 (1657年)



市内最古の手水石(1735年) (社殿前の階段上の右側)



双体道祖神(1795年) (梵鐘の脇、神楽殿側)



朝恵上人の墓塔、顕彰碑 (上人が1649年ころ参道に松を植えました。) (左は女護が石)



市内最古の銘のある馬頭観音 (衆生を導く→馬の供養、交通安全)



弁慶塚 (弁慶の霊を供養しています。)

(義経の霊を祀っています。)
(鎌倉権五郎景政の霊が祀られています。)

(No.1作成:2011.5.20, 改訂A:2013.5.14 s.t.)